



## 木の郷ぎふの家 御嵩建築 の住まい創り新聞

Vol.51

今回のテーマ  
現場レポート  
大掃除の基本・冬至のうんちく



雨楽な家 笑家族SK-28  
リビング

### 現場レポート

- ◎可児市 T様邸 リノベーション(大改修)工事
  - ・メインである、玄関の塗り壁です。  
お客様とお打合せをしながら、模様を付けています。
- ◎八百津町S様邸 新築工事
  - ・上棟式。S様ご家族のしあわせ創り、本格始動です。
  - ・模型が完成しました。良い出来です(^\_^)
  - ・瓦葺き工事 瓦が葺き上がっています。  
太陽光パネルの金具もしっかりと留められています。
  - ・現地で歩幅を確かめながら・照明・スイッチ・コンセント・リモコン・、  
位置や数をお客様と打合せします。ここがかなり重要です。
- ◎職業体験
  - ・地元の中学生在が我が社に職業体験に来ました。まずは現場の掃除です。
- ◎可児市 M様邸新築工事 完成見学会



【当社ホームページより抜粋。詳しくは **ぎふの家** 検索！】

### Topics

#### 木の家博覧会

日時 12月6日(土)・7日(日) 10:00~17:00  
場所 御嵩モデルハウス 可児郡御嵩町顔戸798 (御嵩建築社屋前)  
新築相談会やリフォーム相談会を開催いたします。

11月8日・9日に開催いたしました『御嵩モデル見学会』にお越しくださいました皆様、ありがとうございました！



## 大掃除の超基本の2つのコツ

大掃除をする前にならず知っておきたい2つのポイントがあります。



### 1. 「奥から手前へ」

### 2. 「上から下へ」

ということです。

効率を重視するなら、「奥から手前へ」の順に掃除するのがポイントです。

ここで「奥」というのは玄関から一番遠いところという意味になります。たとえば、ダイニングが玄関から一番遠い部屋だとしたら、そこから掃除するのが正しいやり方です。

なぜ「奥」からやるかというと、最後に溜まったホコリを全て玄関から掃きだすためです。奥からだんだんと玄関までホコリを移動させていくというイメージをしたらわかりやすいと思います。

もし奥からではなく手前から掃除をすると、奥にあるホコリを掃きだすために、いちいち玄関までホコリを掃き出しに行かなければいけません。これでは効率が悪くなってしまいますよね。なので、効率を重視するなら「奥から手前へ」というのを意識しましょう。

「上から下へ」これは大掃除に限らず、掃除の基本です。ホコリは上から下へ落ちてくるので、せっかく床を綺麗にしても、天井を掃除してホコリが落ちてきては意味がありません。

天井からスタートして電球→家具→ドアノブ→床という順に上から下へと掃除しましょう。2階のある家だったら、2階の奥の部屋の天井から掃除しましょう。

## 冬至に関連した話題(うんちく)

今年の冬至は12月22日です。冬至については様々な言い伝えや風習が残されています。

よく言われていることとして、冬至にはかぼちゃやこんにゃくを食べて柚子湯に入る習慣があります。



### 冬至にかぼちゃを食べるわけ

冬至にかぼちゃを食べるのには、中風(脳卒中)や風邪を引かないとか金運を祈願する意味があるようです。

また、冬至かぼちゃは朝のうちに食べるとよとか、四つ前(午前10時)に食べるとよいという地域もあります。

「冬至にかぼちゃ」は現代的に解釈すると、緑黄色野菜の少ない冬にカロチンやビタミンの多く含まれるかぼちゃを食べ、風邪等への抵抗力をつけようとした先人の知恵だと言えます。

実際にかぼちゃには、体内でビタミンに変化するカロチンがたっぷり含まれています。ビタミンAは、肌をツヤツヤにし動脈硬化の予防(中風予防)になるだけでなく、皮膚や粘膜、視力、骨や歯にも効果があるものです。

かぼちゃを食べて風邪知らず!

昔の日本では冬至のころになると秋野菜の収穫も終わって、食べられる野菜もほとんどなくなっていました。そこで元気に冬を越せるようにと願いを込め、栄養もあって保存もきくかぼちゃは特別に大切に、食べていたようです。冬にビタミンなどの供給源が不足した時代のかぼちゃは貴重なものだったといえます。

今は保存しなくても季節が日本と逆のニュージーランドなどから輸入物が豊富に入ってきます。だから貴重品ではないけどこの時期食べるのいいですね。風邪予防のためにも。

### 冬至に「ゆず湯」に入るわけ

寿命が長く病気にも強い柚子の木にならって、柚子風呂に入って無病息災を祈る風習になったと言われています。実際ゆず湯は風邪予防にも効果が高いようですよ。

こんにゃくを食べるのは一年間たまったの砂下ろしをするためだとか。



### その他の言い伝え

冬至に「ん」のつく食品を食べると幸運が得られるという言い伝えがあります。

冬至の七種は「ん」が2つつくもので「なんきん(かぼちゃ)」「にんじん」「れんこん」「ぎんなん」「きんかん」「かんでん」「うんどん(うどん)」でこれらを食べると病気にかからず、うどんは運(うん)・鈍(どん)・根(こん)に通じるので出世するといわれています。

### 悪運リセットの日

冬至は「一陽来復」の日でもあり、転じて悪いことばかり続いたあとでも、ようやく幸運に向う日とされます。南瓜を食べると幸運に向かいますよ。

「冬至に天気がよければ翌年は豊作」「冬至に雷が鳴れば雨が多い」「冬至に南風がふけば地震・日照り・大雨」

「冬至に雪が降れば豊作」という言い伝えも残っています。

豆腐を食べたり小豆粥を食べる地方もあるそうです。